

平成22年6月11日

教職員・学生 各位

総括安全衛生管理者
理事・副学長 新名 惇彦

遺伝子組換え生物等の不適切な使用等について

本年4月、本学遺伝子教育研究センターにおいて、拡散防止区域外に遺伝子組換え植物とその栽培に用いた培養土を誤って不活化せずに廃棄する事態が発生し、本日、このことに関して文部科学省から嚴重注意を受けました。(内容は下記URLのとおり)

今回拡散防止区域外に流出した組換え植物(イネ及びタバコ)は枯死しており、密封容器のまま廃棄物処理施設まで運搬され直ちに焼却され、また培養土中には花、種子及び根等は含まれていませんでしたが、その後回収し不活化したことから、組換え遺伝子の拡散はありませんでした。

しかし、定められた拡散防止措置の手順を踏まなかったことは極めて遺憾であり、深く反省すべきであります。本学においては、このような事態が二度と起きることのないよう、不活化処理手順の改善等の再発防止措置をとりました。

教職員・学生におかれては、教育研究を遂行するにあたって、法令及び学内ルールの遵守をより一層徹底し、遺伝子組換え生物等をはじめとする規制対象物質に係る安全管理に努めるようお願いします。

文部科学省 HP

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/06/1294774.htm

(本件担当)

奈良先端科学技術大学院大学

環境安全衛生管理室

TEL: 0743-72-5918

FAX: 0743-72-6224

E-mail: anzen@ad.naist.jp